

平成29年12月13日

(2017年)

和歌山市長 尾花正啓様

和歌山市農業委員会

会長 谷河 績

和歌山市農業施策等に関する意見書

平素は、農業委員会活動に対し、格別なご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

和歌山市農業委員会は、今年7月から新制度での委員会運営が始まり、農業委員会の最も重要な業務として位置づけられた「農地利用最適化の推進」を農業委員と新たな農地利用最適化推進委員(以下、推進委員)が密に連携を取りながら全力を挙げて取り組んでおります。

つきましては、農業委員会として「農地利用の最適化の推進」を強力に進めるため、次のとおり意見をまとめましたのでよろしくお願ひします。

1 担い手の確保について

「農地利用最適化の推進」のうち、担い手の確保、新規就農・新規参入の促進については、当農業委員会の最も重要な業務として位置づけており、農業委員と推進委員が地域農家の担い手に関する情報交換等を行っておりますが、特に新規就農者の確保に苦慮しているところ

です。
今後の担い手を確保するために、農業関係機関等に対して農業振興に関する施策などの情報提供を行っていただき、更なる和歌山市の就農PRに取り組んでいただきたい。

2 地域での情報共有について

新規就農者等が営農する場合、農業をする上での地域独自のルールが理解されていないことで、地域の農業者とトラブルになることがあります。

そこで、農業委員や農地利用最適化推進委員が新規就農者等に地域独自のルールをお伝えしたり、地域に根ざした担い手が気軽に相談できるような体制づくりにご協力いただきたい。

3 鳥獣害対策について

鳥獣害対策については、市の防護柵設置補助金などにより対策を講じていただいておりますが、近年、イノシシ等による被害が数多く報告されており、大切な農作物が有害鳥獣により荒らされ、農家にとってその生活までもが危ぶまれる状況となっております。

そのため、防護柵設置対策のほかに、イノシシ等の数そのものを減少させるための抜本的な対策を検討していただきたい。